

長野の林業

No.
401
2025.9.10

特集

オフィス改革に併せて執務室を木質化

トピックス

- ・ 治山及び林業事業の災害復旧
- ・ 信州の森で働く人・働きたい人のためのポータルサイトがオープン
- ・ 木曽谷・伊那谷フォレストバレーの取組が本格始動
- ・ 上田地域／上伊那地域／南信州地域

地域の話題

県森連だより



県林務部のオフィスを木の香り立つ空間へとウッドチェンジ!!

林務部では県庁全体で行われているオフィス環境の改革で、フリーアドレス化やペーパーレスの取組に加え、県産材を使った机の導入や打合せスペースの木質化を独自の取組として行いました。



長野の林業
フルカラー版

オフィス改革に併せて 執務室を木質化しました

県では、県民のために真に役立つ組織、職員が明るく楽しく前向きに仕事ができる組織になるため、組織風土を創りかえるための方向性やその対策を職員自らが提言する「かえるプロジェクト(以下「かえプロ」という。)」を令和5年度から進めています。

かえプロで提案された取組のひとつに「オフィス改革プロジェクト(以下「オフィス改革」という。)」があります。このオフィス改革は、業務の内容に応じて「働く時間や場所を自ら選択する」働き方であるABW(Activity Based Working)の概念を取り入れ、より創造的に組織内外と協働しやすいオフィスへの移行を目指すほか、自宅等での勤務を組み合わせて、生産性の向上やワークライフバランスの実現を図ることができるよう、働き方自体の改革を進めています。

今回は、オフィス改革に併せ、林務部の執務室を木質化しましたので、その取組をご紹介します。

オフィス改革では、職員間のフラットな関係性を体现するフリーアドレス(固定席の廃止)の導入、ペーパーレス化に対応するためのサブディスプレイを全席に配置、そしてコミュニケーションスペースの整備が共通して行われています。

林務部では、本年3月に議員提案により制定された「信州の豊かな森林と環境を守る県産材利用促進条例・通称「県産材利用促進条例」の第14条の「県による県産材の率先利用」の一環として、執務机の天板とコミュニケーションスペースの木質化を追加してオフィス改革に挑戦しました。

執務机やコミュニケーションスペースの木質化は、庁内ではあまり例を見ない取組であったことから、信州ウッドコーディネーターへの相談や県内外の民間施設等の視察を通して漠然としていたイメージを徐々に具体化させていきました。机には、強度があり、淡い白色が特徴とされ

るアカマツ材を積極的に活用しました。コミュニケーションスペースは、4区画に分けて、それぞれの区画にはアカマツ、カラマツ、スギ、ヒノキの柱を立て、床材を敷くことで来訪者に県産材を見て、触れてもらい、それぞれの良さを体験してもらえようという工夫を施しました。

新しい執務室での執務は、7月29日から始まったばかりですが、職員や来訪者からは「部屋が明るくなった」、「木の香りがして気持ちいい」などと好評です。

新たな環境で、気持ち新たに仕事に取り組むとともに、林務部の執務室から県産材の率先利用を推進してまいります。

県庁にお越しの際は、木の香る林務部に是非立ち寄りください。

【林務部オフィス改革チーム】



机の組立は職員で実施



改革実施前



新しい空間で打合せ



実施後



長野県は急峻な地形や複雑かつ脆弱な地質構造にあり、山地災害が発生しやすい条件下にあります。

令和5年度には、主に5～7月の豪雨により県内全体で68件の山地災害が発生したほか、40箇所在林道施設が被災しました。

県や関係市町村では、その後速やかに復旧整備に着手し、災害復旧に取り組んでおりますので、その状況について報告します。

復旧の進捗状況(治山)

県では、災害発生直後から特に規模が大きく緊急性が高い7箇所について災害関連緊急治山事業により早期の復旧整備に着手するなど、災害復旧に取り組んでまいりました。

写真は下伊那郡泰阜村万場地区において令和5年6月豪雨により山腹崩壊が発生し、県道に土砂が流出した箇所の復旧状況です。



災害発生時(令和5年6月)撮影



復旧後(令和6年11月)撮影

復旧の進捗状況(林道)

令和5年の5～7月に発生した災害については上田、上伊那、南信州、木曽、松本、長野管内の関係市町村が林道施設災害復旧事業により復旧工事に取り組んでおり、令和7年7月末現在で35箇所が復旧完了しています。

写真は下伊那郡松川町の林道で、路肩決壊の復旧工事が行われ令和6年に完了しました。



災害発生時(令和5年6月)撮影



復旧後(令和6年8月)撮影

令和6年度も、県内各地域の山地や林道で災害が発生しましたが、関係者の皆様のご尽力により、着実に災害復旧が進んでおります。この場をお借りして御礼申し上げます。

【森林づくり推進課・信州の木活用課】



一般財団法人
長野県林業労働財団
長野県林業労働力確保支援センター

林業を知りたい

林業で働きたい

林業事業者のみなさま

林業事業者一覧

当財団について



ながの森ジョブ.BASE

—— 信州の森林で働こう！



ながの森ジョブ.BASE
はこちら



林業事業者のみなさま >



林業で働きたい >



林業を知りたい >

ながの森ジョブ.BASEのトップページ

信州の森で働く人・働きたい人のためのポータルサイト
「ながの森ジョブ・BASE 信州の森林で働こう！」が
オープン

（二財）長野県林業労働財団は、「林業を知りたい方」、「林業で働きたい方」、「林業事業者のみなさま」の3つの利用者層に合わせて分かりやすく情報をお届けする新しいホームページ「ながの森ジョブ・BASE」を令和7年3月にオープンしました。

「林業を知りたい」のページでは、「林業ってどんな仕事なの?」という疑問に答えるため、林業生産活動のサイクル「植えて・育てて・伐って・また植える」を図解で説明するとともに、林業の現場で多様な働き方をされている方をデジタルブックや動画で紹介しています。

「林業で働きたい」のページでは、信州の豊かな自然環境の中で林業への就職を考えている方に向けて、就職説明会や体験講習会、相談会や新卒・転職・移住者向けの支援金制度等の案内、林業事業者一覧の情報を掲載しています。

「林業事業者のみなさま」のページでは、各種の助成事業の内容や申請様式、申請期限等を案内するとともに、「林業事業者向け助成事業活用シミュレーション」が設けられており、質問項目にチェックすることで活用できる助成事業が確認できます。

また、イベント情報欄には今後開催される、林業基本講座や、林業研修1日見学会、林業就業支援講習（体験コース）等の情報が掲載されています。

利用者のみなさまに向けて、「ながの森ジョブ・BASE」は随時情報が更新されていきますので、是非ご活用ください。



木曽谷・伊那谷フォレストバレー基本構想(抜粋)

《基本理念》

木や森の「学び」と「暮らし」に会える場所

《基本方針》

木曽谷・伊那谷での木と森に関する学びを活かし、新たな時代を支える人材を育成するとともに豊かな暮らしや多様なビジネスを創出

※全文はポータルサイトに掲載

令和6年8月に関係機関・関係機関及び県事務局による「木曽谷・伊那谷フォレストバレー運営協議会」を設立。同協議会での協議等をふまえ、フォレストバレーの目指す姿や取組の方向を共有するための「基本構想」を令和7年7月に策定しました。

■推進体制

木曽谷・伊那谷は、森林や林業に関する教育機関や試験研究機関が比較的近距離で集積している、全国的にも珍しい地域です。「木曽谷・伊那谷フォレストバレー」はこの強みを活かし、木や森について学びたい人・関心のある人が県内外から訪れる人材育成とイノベーションの拠点地域として、関係機関等の連携による機能強化と地域ブランドの確立を目指しています。

■木曽谷・伊那谷フォレストバレーの概要



■令和7年度の取組と今後の展開

推進体制の整った今年度は、関係機関等の連携により実施する7つのプロジェクト、民間事業者の提案による3つのプロジェクト等、本格的な取組がスタートしています。また、木曽谷・伊那谷フォレストバレーポータルサイトや公式インスタグラムも開設。各プロジェクトの情報や、地域の様々な活動等について発信していきますので、ぜひご覧ください。統一ロゴマークも決定し、関係機関や行事等で一体的に使っていくこととしています。

今後はフォレストバレーの趣旨に賛同する「賛助機関」や「関連行事」



森林ベンチスクール
(地域おこし協力隊交流研修会)@木曽町



知事と木曽青峰・林大・上松技専の生徒・
学生との意見交換 @木曽青峰高校



信州大学 課題発見サマースクール
@Inadani Sees



信州伐木チャンピオンシップ2025
@長野県林業大学校

【信州の木活用課】



Instagram
@KISO_INA_FORESTVALLEY



ポータルサイト

を幅広く募ること
で、多様なつなが
りを築き、木と森
の新たな価値創造
に取り組んでいき
ます。
フォレストバ
レーのこれからの
展開にご注目くだ
さい！



上田地域

上田地域植樹イベント 「UE森2025」を開催

上田地域では、地区の植樹祭は、昭和63年から令和3年まで「上小地区森林祭」という名称で実施されていましたが、SGEC認証森林をフィールドとしたにぎやかな森プロジェクトを始めてから令和4年以降は、にぎやかな森プロジェクト植樹行事と位置付けており、令和5年から「UE森」上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い」として開催しています。UE森は「ウエモリ」と呼び、「UE」には上田・上小地域の「上(うえ)」と、木を植えるの「植え」の意味を込め、一般公募参加者やみどりの少年団、森林認証の事務局である上小森林認証協議会と森林の里親契約をしている企業の方々を主体にして、式典などを簡素化し植樹作業に特化したものになっています。

UE森となつて3年目の今年、「UE森2025」を5月10日に上田市菅平の上田市東御市真田共有財産組合有林の主伐地で行い、約220名の参加者がカラマツ1,900本を植えました。上田地域は主伐・再造林が進んでおり、UE森参加者も「本気(マジ)で本物(ガチ)の森林づくり」をやりたいと思っています。UE森は少人数スタッフでもできる、地域と参加者のニーズがマッチした有意義な林業体験イベントになっています。



UE森2025 参加者記念写真

【上田地域振興局林務課】

上伊那地域

まつたけ発生環境整備の功績が 表彰されました



小淵会長より表彰状授与

駒ヶ根市の林 東洋氏が、日本特用林産振興会(会長小淵優子)より第38回特用林産功労者として表彰されました。これは令和6年度の全国林業経営推奨行事林野庁長官賞受賞に続く快挙で、今年度、全国17名の受賞者のうち「まつたけ」を品目として選定されたのは林氏のみです。

林氏は40年以上にわたり、まつたけ増産の技術向上に尽力してきました。所有山林や委託された山林、合わせて約25haにおいて、倒

木の片付けやシバ掻き、下層木の除間伐、害菌駆除といった、まつたけの生育に不可欠な環境整備を継続的に実践。近年は、夏の高温や少雨といった気候変動に対応するため、広葉樹の伐採や剪定方法にも独自の工夫を凝らしています。

また、「まつ会の会」代表としてまつたけ生産者の育成や視察受け入れ及び技術指導にも積極的に取り組んでいます。こうした長年にわたる献身的な活動と、その卓越した技術の普及への貢献が、長野県のまつたけ増産に大きく寄与したと高く評価されました。



表彰者記念撮影
(林さんは、下段左から2番目)

【上伊那地域振興局林務課】



南信州地域

南信州で最新式の架線集材に 挑戦しています

南信州地域は、急峻で起伏に富んだ地形や脆弱な地質により集材路設置が困難なことから、架線集材による主伐・再造林の取組が始まっています。その取組の一環として、飯伊森林組合では「油圧式集材機と架線式グラップルのシステム」を導入しました。

このシステムは、①完全リモコン操作 ②インターロック制御 ③荷掛け、荷下ろしの機械化などの特徴があり、安全性の向上と作業の効率化を実現します。天龍村の村有林の主伐地で運用したところ、作業員は慣れない機械操作に戸惑うこともありましたが、徐々に慣れ、スムーズな流れの作業が実現できました。

現在は、平谷村の主伐再造林地に移動し、更なる技術向上に取組んでいます。

今回の油圧式集材

機と架線式グラップルの導入により、この地域の主伐・再造林の取組が更に進むことを期待しています。



架線式グラップル
(イワフジBLG16R)



油圧式集材機(イワフジYR302E)

【南信州地域振興局林務課】

林業薬剤に関するお悩みは、 長野県林業薬剤防除協会が解決します！

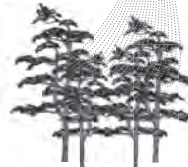
当協会は、林業薬剤の安全かつ適正な使用方法の普及を図り、
病虫獣害から森林を守ることを目的として活動しております。

- 県・市町村等で開催する林業薬剤の講習会への講師の依頼。
- 庭の先祖代々の松を守りたい。どんな林業薬剤を使用すればいいの？ など

— 林業薬剤に関するご相談はこちらまで —

長野県林業薬剤防除協会

長野市岡田町30-16 長野県森林組合連合会 内
TEL 026-226-2504 FAX 026-226-2225



正会員

レインボー薬品(株)

アグロ信州(株)

サンケイ化学(株)

住友化学(株)

大同商事(株)

保土谷アグロテック(株)

丸善薬品産業(株)

(株)ニッソーグリーン

日本曹達(株)

賛助会員

長野県森林組合連合会

(一社)長野県林業普及協会

(一財)日本森林林業振興会

長野支部

アキレス(株)



秋の記念市ご案内

◆原木 開設27周年記念市

《坂下事務所》 9月25日（木）

入札開札 13時 保証金 10万円

◆製品 開設58周年記念市

荷主会結成57周年記念市

《本部事務所》 10月18日（土）

入札開札 9時 保証金 10万円

◆原木 創立70周年記念市

「第41回 日本美林まつり」

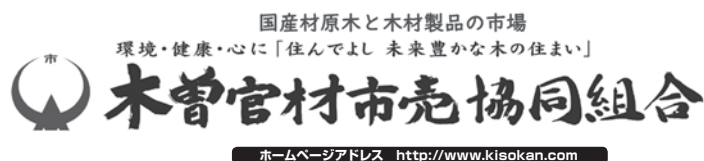
《荻原事務所》 10月21日（火）

入札開札 9時 保証金 10万円

9月・10月の市売りのご案内

本部事務所 （製品）	荻原事務所 （原木）	坂下事務所 （原木）	国有林土場等活用 委託販売市売日
特選材市 9月20日（土）	9月24日（水）	開設27周年記念市 9月25日（木）	9月9日（火）
開設58周年記念市 10月18日（土）	創立70周年記念市 10月21日（火）	10月8日（水） 10月23日（木）	10月7日（火）

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



理事長 勝野 智明

本部事務所：長野県木曽郡上松町正島町2-45

☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

荻原事務所：長野県木曽郡上松町荻原字中島1431-1

やぶ原土場：長野県木曽郡木祖村荻原844-1

坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1

☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885

☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086

☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172



▲登壇した中村氏。会社経営する傍ら、自らも林業現場での作業に従事している

長野県造林協会通常総会 森林・林業セミナー開催

7月4日（金）長野市のホクト文化ホール第2会議室で長野県造林協会通常総会及び森林・林業セミナーが開催されました。

本協会は79会員（60市町村、15森林組合、4県域団体）によって構成さ

れ、再造林の推進や森林資源の有効活用、森林・林業に関する知見を深める活動のほか、森林整備に関する政策提言を、上部団体である「日本造林協会」を通して実施しています。

通常総会では、令和6年度の業務報告が行われました。主な活動内容としては、森林・林業セミナーの開催や長野県林業薬剤防除協会主催の研修会への参加のほか、運搬用ドロンの植栽現場での実証、日本造林協会が発行する「造林時報」への寄稿などがありました。

通常総会後の森林・林業セミナーでは、次世代につなぐ資源となる健全な森林を育むうえで、林業人材の確保は不可欠なことから、林業界のWEB採用活動・人材採用戦略を専門に活動されている株式会社RINDO代表取締役社長の中村 就氏に講演いただきました。同氏は、自身の採用支援活動経験を活かし、林業業界の発展に貢献するという目的のもと、林業業界の求人サイト「RINDO」を運営しています。

講演では、採用活動における林業界の現状、採用活動のための基本ステップ、求職者に注目していただける魅力的な求人票の作り方などが話され、林業業界を目指す求職者の具体的な人物像を想定した分析など示された詳細なデータに、参加した行政担当職員や組合職員は関心を寄せていました。

研修内容

【1日目】

- ・会計・簿記の基礎、基本的な仕訳や財務諸表の見方
- ・消費税の概要、経理方法について
- ・指導部門の会計処理について
- ・販売部門の会計処理について（販売事業・林産事業）

【2日目】

- ・森林整備部門の会計処理について（森林整備事業・購買事業）
- ・事業管理・事業外・決算関係について

本研修会では、森林組合会計の基礎を学ぶとともに、森林組合簿記の具体的な仕訳方法を習得し、適正な会計処理に必要な知識の研鑽を図ることを目的としています。

森林組合の会計は事業のあり方の多様さ、補助金を活用することから勘定科目が多く、会計処理が独特で複雑になっています。今回は、従来行っていた演習形式から、各事業での仕訳例をスライドで要点を交えつつ解説を行う方法に変更し、より原則や処理を行う理由の理解に重きを置いた研修内容となりました。

森林組合

会計実務研修会

7月9日（水）～10日（木）安曇野市もくろりゅう館にて、令和7年度会計実務研修会を実施し、県内の森林組合職員と行政職員合計13名が参加しました。



▲消費税の仕組みについて身近な缶ビールの例で解説

◀基本的な簿記会計の内容のほか、各森林組合での個別の相談も相次いだ

特に受託事業では、費用と収益の帰属が副次的になることから、一旦森林組合が支出しないし収入するものの、あくまでも費用は立替え、収益は預かって取扱うことがポイントです。また、主伐後の再造林費用に木材売上を充てる際の会計処理についても解説されました。



主伐・再造林実践支援研修会

豊かな森林資源を次世代へつなぐために

9月2日(火)安曇野市のもくりゅう館にて「主伐・再造林実践支援研修会」が開催されました。

当研修会は、長野県林務部の令和7年度林業労働力対策事業(主伐・再造林条件整備事業)を活用して企画されました。

本県の民有林人工林は約8割が50年生を超えるなど、利用可能な時期を迎えています。一方で、植えてから20年までの比較的若い人工林が少ない状況であり、森林の若返りを図り、将来にわたって森林資源の活用を進めていくため、主伐・再造林を進めていくことが求められています。しかしながら、木材価格の不確実性や再造林費用に対する懸念を背景に地域によっては主伐・再造林に踏み切ることができていない状況があります。

そこで、主伐・再造林実施に必要なノウハウの普及を図るため、先進的に主伐・再造林に取り組む、全国トップクラスの素材生産量を誇る宮崎県の耳川広域森林組合椎葉支所、片平樹事業課長と、県内森林組合から、南佐久中部森林組合、新津清秀参事、上伊那森林組合、吉田康二参事を講師に、各地での取り組み事例を紹介していただきました。



▲講演する耳川広域森林組合の片平樹事業課長

当日は県内森林組合の役職員や県や市町村の林務職員など36名が参加しました。
耳川広域森林組合での事例では、森林所有者の林業への意識の高さやそれに応える森林組合はじめ地域の素材生産業者の従事者の多さが背景にあるものの、更に再造林を確実にするべく、「再造林推進ネットワーク」を森林組合が主導的に情報共有や事業の差配を行っていることが紹介されました。再造林率においては、直営で行った主伐施業地以外にも素材生産業者が伐採した跡地も造林していることから実質100%を超えているなど、先進地の実情に驚きの声があがっていました。



▲南佐久中部森林組合の新津参事(上)からは「主伐後の再造林～保育10年保証」について、上伊那森林組合の吉田参事からは、取組事例を通じて、再造林への想いや見えてきた課題が挙げられた

2025

長野県協同組合

フェスティバル

2025 国際協同組合年

◀詳しくは
特設 HP から

昨年、多くの来場者で賑わった「長野県協同組合フェスティバル」今年もが開催されます。

長野県内の協同組合間連携の一環として、組合員同士の交流や県民の皆様に協同組合の活動を知っていただくイベントで、国際協同組合年である今年は、特設ブースを開設し盛り上げます。

開催日は10月5日(日)の10時00分～15時30分、長野市の「ながの表参道セントラルスクエア」を行います。入場は無料。

県内の協同組合や関係団体が商品を持ち寄り、農産物などの直売を行うほか、活動紹介や体験コーナーなど約41ブースが予定予定です。

当日は長野市中央通り一帯を会場に「善光寺表参道秋まつり」も開催されます。秋の行楽に是非お出かけください。

各種お問い合わせは、実行委員会事務局 長野県生活協同組合連合会まで。

☎026・261・1380



新企画

森林組合しか知らない世界

森林組合って何？どんな仕事をしているの？組合員って？…etc.

そんな森林組合にまつわる、森林組合しか知らない世界を紹介するコーナーです♪

今回のテーマ：
～森林組合職員のとある一日～

組合員に代わりに行う森林整備や木材生産～販売のほか、木材加工、林業資材の斡旋販売と、組合員の需要に日々応える森林組合の職員。

作業内容で、庶務から企画営業等を行う「一般職員」と、専ら山林内での施業に従事する「技能職員」とで分かれています。今回は、森林整備事業を例に、とある一日のそれぞれの業務を見ていきます。

一般職員（技術職） 山も登るし、PC作業もバリバリこなす

8 12 13 17

朝礼・メールチェック	作業完了現場の確認 (写真撮影・測量)	現場管理	昼休憩	山見・境界立会確認 森林所有者との	測量データの内業	事務作業
------------	------------------------	------	-----	----------------------	----------	------

森林組合の技術職員は、地域の森林のスペシャリスト。認定試験に合格すると「認定森林施業プランナー」になることができます。複数人で市町村別や発注元別で業務を分担をして行っています。所有者との打合せ提案から測量、森林経営計画の策定、補助金関係業務、現場管理や資材や機械・トラックの手配、検査対応…と事業を一貫して行うことから、業務は多岐にわたります。デスクワークだけでなく、実際に山へ行って仕事をする場面が多いです。近年はスマート林業が普及し、GISソフトの活用はもちろん、GNSS測量やドローンを使った調査も行われています。



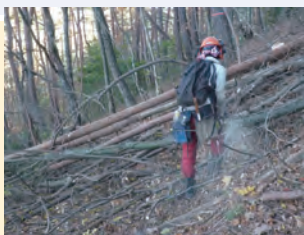
森林組合の業務フローイメージ

※受託森林整備事業を例に



技能職員

森林整備や素材生産、支障木伐採などの林業作業に従事するのが技能職員。就業時間や雇用形態も一般職員と異なるケースもあります。3～5人程度の班単位で、作業種に合わせ、高性能林業機械やチェーンソーなどの作業を分担して行います。造林（植栽から保育間伐まで）と林産（伐採～搬出）とで班を分けているところもあります。現場での作業進捗は班長が管理し、山の現場へ向かい、朝イチで行うTBM（ツールボックスミーティング）で、その日の作業内容の確認や危険予知活動を行ったあと、適宜休憩を取りながら作業を進めます。昼食もちろん山で！自然環境と向き合いながらより良い山づくりのため技術を磨いていく仕事です。未経験の方も、緑の雇用制度を活用して、研修や資格取得でキャリアアップできる体制が整備されています。



・造林班（下刈り）

7:30 12 13 17

夏場は就業時間を早めて作業することも

朝礼・現場移動	TBM	下刈り作業	昼休憩	下刈り作業	翌日の準備・移動
---------	-----	-------	-----	-------	----------

・林産班（素材生産）

7:30 12 13 17

集材はチームワークが大事！

朝礼・現場へ移動	TBM	チェーンソーによる伐倒作業	昼休憩	スイングヤーダで集材作業	翌日の準備・移動
----------	-----	---------------	-----	--------------	----------

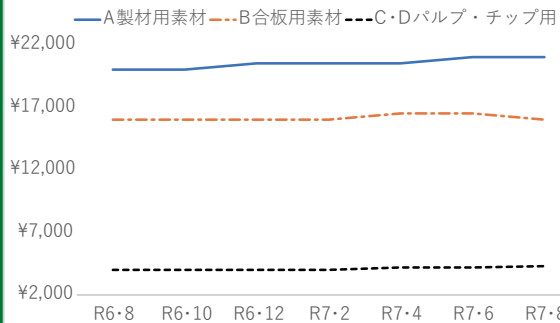


JForest

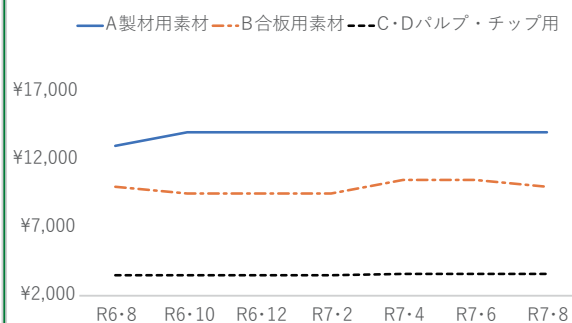
長野県の木材市況



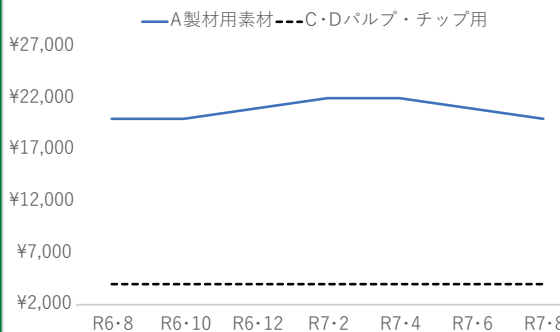
カラマツ用途別素材立米単価 (円/㎡)



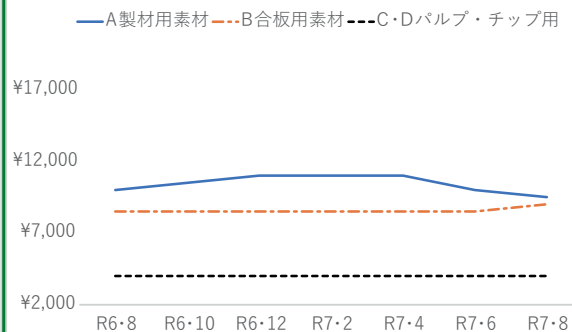
スギ用途別素材立米単価 (円/㎡)



ヒノキ用途別素材立米単価 (円/㎡)



アカマツ用途別素材立米単価 (円/㎡)



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成

連日の猛暑の中、各木材センターの市売へご出品いただきありがとうございました。

広葉樹においては、材が劣化しやすい時期ということもあり、全体的に価格が伸び悩みました。広葉樹の良質材の伐採は秋以降にお願いします。

製材用丸太について、原木供給の不足からヒノキは3.0m材、4.0m材ともに需要が回復してまいりましたので、引き続き直造材でのご出品をお願いします。

スギは引き合いが増えておりますので、直造材を基本とし、18cm～22cmは3.0m、24cm上は4.0mを主体に積極的なご出品をお願いします。

カラマツは継続的な需要が見込まれますので、直造材での出品をお願いします。

また、合板用丸太については、継続的な原木不足からしばらくの間需要が見込まれます。

11月には各木材センターで記念市が開催されますので、今後、伐採または出材を計画されている方は各木材センターへご相談ください。

【当連合会は合法木材に取り組んでおります】

合法木材供給事業者の認定を取得したうえで、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号及び伐採地と伐採箇所が記載された納品書及び伐採届の提出をお願いします。

※安全のため、木材センターでの荷下ろし・積み込みの際には車止めの使用とヘルメットの着用をよろしくお願いします。



県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪

長野県森連